



ち★ネット!

「顔の見える地域連携」を目指した多職種での情報交換と学びの会
それが、地域医療ネットワークの会です!



平成22年3月20日 第9回 地域医療ネットワークの会 「糖尿病患者の在宅療養を考える」

メロンディアあざみ野にて、病院、診療所、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、老人保健施設、有料老人ホームなど 37施設、87名の多職種の方々の参加がありました。

医薬情報提供：インスリン製剤の選択 (株)ノボ ノルディスク ファーマ

開会の辞 地域医療ネットワークの会世話人会代表 松田 隆秀

地域医療ネットワークの会・世話人会紹介 伊藤 正子



シンポジウム

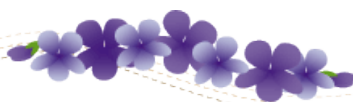
座長：西川 真人 西川内科・胃腸科医師

- | | | | |
|-------------------|----------------------|-----|--------|
| 1. 糖尿病療養者の在宅療養の現状 | 向丘訪問看護ステーション | 看護師 | 坪 むつみ |
| 2. 患者指導の実際 | 聖マリアンナ医科大学病院糖尿病センター | 看護師 | 若月 江利子 |
| 3. 糖尿病の治療について | 聖マリアンナ医科大学病院代謝・内分泌内科 | 医師 | 加藤 浩之 |



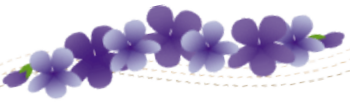
シンポジストからは、糖尿病の療養についてそれぞれの視点で話がありました。

その後、会場から質問を受ける形で、全体討議が行われました。治療する側の目標と生活の中での管理の実際には多少なりとも差があるため、今後もお互いの情報交換が有意義であるということが明確になりました。



アンケートから、糖尿病の療養で注意しなければならない低血糖所見や対応の仕方、シックデイの対応、フットケアの重要性などが、知識として持ち帰ることができたという結果がえられました。現在の社会情勢を反映して、高齢者世帯、もしくは独居老人、認知症老人などがインスリン管理を必要とするケースが増えてきており、サポートする側の地域連携がますます重要になってくると考えます。

シンポジウム後の懇親会にもたくさんの方々の参加があり、お互いの交流が深められ、今後の更なる連携につながりました。



第9回地域医療ネットワークの会 フォトギャラリー

